

ONOMICHI

まちを歩けば お気に入りの尾道。

食・店・アート・文化・歴史etc・・・
あなただけの特別が見つかる。



尾道の
おいしさも
満載!



風きって、
島々を
サイクリング



おもしろいことは、
尾道からはじまるよ。



数々の芸術家も
愛した尾道の風景



レトロなモダンが
心地よく融合しているね





JAPAN HERITAGE

日本遺産

ONOMICHI

感動と発見の舞台は
いつも尾道にあり



やまなみから、しまなみまで、
多彩な風土は楽しみ方いっぱい。

古くから港町として栄え、その美しいまちなみと情緒から、文学や映画の舞台に取り上げられ、多くの人たちに愛されてきた尾道。周辺市町との合併を経て、今は緑豊かな丘陵地域から独特の多島美を持つ島しょ部まで、多彩な風土を持つ「瀬戸内の十字路」へと成長しました。ノスタルジックな路地を歩いたり、しまなみ海道をサイクリングしたり、街角の美術館や名作の舞台を訪ねたり、あなただけの尾道をゆっくり楽しんでください。

CONTENTS

- 03：尾道のまちなみ
- 09：尾道古寺めぐり
- 11：尾道のやまなみ
- 13：尾道のしまなみ
- 17：夜の尾道
- 19：尾道の文学
- 23：尾道の芸術
- 27：尾道のロケ地めぐり
- 29：イベント案内（四季の彩り）
- 31：ONOMICHI 味めぐり
- 33：おのみち散策 MAP
- 37：ONOMICHI 旅の総合ガイド

尾道市DATA

- 人口(住民基本台帳登録人口)
136,428人(R1.8.31)
- 面積
285.11km²
- 市の花
桜
- 市の木
桜
- 市技
囲碁



このまちなみに惚れて、 尾道にやってきました。

尾道のまちなみは、商店街が延びる海側と寺社仏閣や瓦屋根の古民家がひしめく山側に分かれて広がっています。どちらも昔懐かしい温かな雰囲気を持っていて、訪れた人々の心をぐっと引き込みます。薬師堂通りで手打ち蕎麦屋を営んでいる鴻上夫妻は、数年前に大阪からこの尾道へ移り住んできました。カメラマンとしての顔も持つご主人は、奥さんの地元である福山市に帰省する度に尾道を訪れて、その風景を写真におさめてきました。「尾道のレトロな雰囲気が琴線に触れたんよ。昔ながらのまちなみが、今も色濃く残っているところがええなあ。」尾道のまちに惚れこんで移住した鴻上夫妻は、内外から見た尾道の魅力を教えてくれます。そんな二人と、尾道のまちをいっしょに巡っていきましょう。



引っ越してきて
よかったネ!!

福山のお店の
おのれ



シャッターチャンスが
いっぱいのもちです



POINT 1

尾道ならではの坂道のある風景
見上げると青空、見降ろすとまちなみの絶景です。



尾道を代表する坂道といえば千光寺新道
①です。石畳が美しく、映画やテレビにも数
多く登場しています。天寧寺海雲塔の下から
東へ下る天寧寺坂②も情緒があります。



古寺めぐりの道は石畳が続いて
います。ところどころにまちと
水道が見渡せる絶景スポットが
現れます。



春になると満開の桜で彩られます。代表的な千光寺公園の桜(①)をはじめ、天寧寺のしだれ桜(②)や西國寺の桜(③)も人気です。妙宣寺の冬桜(④)は11月上旬から3月下旬にかけて咲きます。

POINT 2

古き良き時代を残すノスタルジックなまちなみが魅力です。



まちを歩くと、いたるところに古くからの建物を見ることができます。尾道の人たちが大切に受け継いできたその建物が、ちょっと懐かしい、タイムスリップをしたような雰囲気を作り出しています。



季節によって変わる
きれいな景色に癒されます



POINT 3

尾道のランドマーク
ロープウェイに乗って
千光寺公園の
展望台へ。

千光寺公園にある展望台からは、東西に延びる尾道のまちと尾道水道を一望できます。寺社仏閣や瓦屋根の民家が見渡せ、水道を行き交う船を眺めていると、時が過ぎるのを忘れてしまうほどです。





毎日歩いても
飽きないです



商店街や路地には「ばんよりさん」と呼ばれる、昔ながらの魚の行商さんがいることも。尾道で獲れた旬の魚を教えてもらいながら、おしゃべりに花が咲きます。



通りを歩くと、 いつも気持ちはずみます。

「尾道は人が良いまちでもあるよ」と鴻上夫妻が言うように、商店街や海岸通りに軒を連ねる店は、店主の人柄と個性がにじみ出ています。昔ながらの店も新しく移り住んだ人の店も、観光で来た私たちを何の隔たりもなく迎え入れてくれます。店ごとの個性が楽しめるので、立ち寄ってみる価値あります。グルメや買物スポットから少し離れてみると、尾道水道を行き交う渡船が目に入ります。奥さんが観光に来た人に必ず勧めるのは、市街地と向島をつなぐわずか3分の船旅。「情緒があっていいですよ。向島からみる尾道のまちなみも素敵だし、夜は特におすすめです。」

POINT 1

尾道のまち歩きのはじめは
ひっそりと輝きを放つ
「路地裏」にあります。



幅の狭いノスタルジックな路地を歩きかう距離感には、地元の人や観光客の心を温かくしてくれます。



路地裏にはおもしろいお店がたくさんあります。どの店も親切でやさしくむかえてくれます。



POINT 2

女心をくすぐる
レトロでかわいいお店が
尾道にはたくさんあります。

都会のおしゃれなカフェや雑貨屋さんとは一線を画した、味のあるお店が尾道にはあります。まち歩きの間際に休憩をしたり、おいしいもの、かわいいものを求めてぜひ立ち寄ってみてください。



向島から見た尾道のまちなみ



POINT 3

穏やかな尾道水道を行く
3分間の短い船旅

市街地と向島をつなぐ渡船の乗船時間はわずか3分です。渡船から見る尾道のまちなみは格別で、観光客にも人気の航路です。



尾道は作家・林芙美子が幼少期を過ごした場所です。商店街の入口には芙美子の像があります。また、昭和39(1964)～40(1965)年に連続テレビ小説で放送された、林芙美子原作のドラマ「うず潮」の舞台となった路地は「うず潮小路」と名付けられて今でも残っています。

おのみちを歩けば いいことが 起こりそうな予感

尾道にある寺社仏閣の境内には、
意外に知られていない“穴場”スポットがあります。
古寺めぐりをするときには本堂へのお参りだけでなく、
こちらも要チェックです!

神が鎮まるパワースポット

尾道らしい路地にある
パワースポット

熊野神社と神鎮小路
MAP▶P36 C2

久保本通りと国道2号の中間
に位置し、幅が1mほどしかない
狭い小路の突き当たりに熊
野神社が鎮座しています。この
細い路地を神(神社)の鎮まる
小路と呼ぶようになりました。
神聖な空気が流れています。



夫婦円満♡

やさしく寄り添う
微笑ましい姿

夫婦岩

MAP▶P35 C2

千光寺の本堂西側にある三重岩
(みかさねいわ)そばの石段を登
ると、仲良く寄り添った夫婦岩が
あります。夫婦相和し、家庭円満
を教えているようで、夫婦
やカップルで訪れると優しい気持
ちになります。



煩惱滅除

千光寺観音堂に
掲げられた大数珠

千光寺の数珠

MAP▶P35 C2

千光寺の観音堂には西
国三十三観音霊場の御
本尊様三十三体が安置
されています。軒に掲げら
れた大数珠を回せば、そ
の大きな音が煩惱を取り
除き幸せになれると言わ
れています。



願いが叶う!



菅原道真にゆかりの深い
愛くるしい石牛

御袖天満宮の石牛

MAP▶P36 C2

御袖天満宮の境内にある石牛を
なでると、願いが叶うそうです。
菅原道真は、生まれた日や九州
の大宰府に流される日、任地で
亡くなった日も丑の日で、丑は天
神様の使いと言われるようになり
ました。

横綱が奉納した
パワーいっぱい石

横綱陣幕の回し石

MAP▶P36 C3

浄土寺の境内にあります。尾道の
初汐久五郎が弟子入りして、後に
第12代横綱になった陣幕久五郎
が奉納した石です。いつの頃か
ら、回して願いを掛けると、よく叶
えられると言われるようになりました。



身体を
いたわる



尾道のねずみ小僧
首から上の病に効果あり

海福寺の三つ首様

MAP▶P35 (E-3)

江戸時代の末期に出没し、富める者から奪った金を貧しい者と与えた3人の怪盗。ついに罰せられた3人の首が、町人によって祀られ「三つ首さん」と呼び伝えられました。首から上の病を治すと評判です。



光っているお姿のわけは、さすると治る!?

天寧寺のびんずる様

MAP▶P35 (C-3)

お釈迦様が抱えていた10人の高名な弟子の中でも、特に優れていた「びんずる様」。天寧寺の本堂にいらっしゃるびんずる様は、痛いところをなでると痛みが和らぐと言われていて、全身がなでられてピカピカ光っています。

「亀は万年」にあやかっ
ちよつと変わった手水所

長神社の手水所

MAP▶P35 (C-2)

長神社にお参りすると、少し変わった手水鉢を見ることができます。一般的な手水鉢は、龍の口から水を吐くものが多いのですが、ここでは長寿にあやかり、亀の口から水が出ています。



あっち
こっちで

出会うとうれしい隠れスポット

まち歩きを楽しみながら出会うと、ちょっとうれしい、尾道ならではの隠れスポットをご紹介します。



リアルだけど
どこか愛くるしい

久保三丁目のイノシシ像

MAP▶P36 (D-3)

イタリア・フィレンツェの有名な彫刻家ピエトロ・タッカが製作したボルチェリーノの像。鼻をなでると幸運になると噂され親しまれています。



町のあちこちにひそむネコ
何匹に出会えるかな?

福石猫

尾道のいたるところで出会う猫石。絵氏の園山春二氏が尾道に福をもたらそうと作成し、尾道の町に放ちました。



ハートマークの真ん中で
寄り添う二匹の猫

モニュメント「永遠の愛」

MAP▶P35 (E-2)

「恋人の聖地」千光寺公園内に設置されたモニュメント。高さ2メートルを超える大きなハートマークの真ん中で2匹の猫が寄り添っています。



挑戦してみる!?
力持ちの証が刻まれた石

西國寺の力石

MAP▶P36 (D-1)

昔、船へ荷物の積み下ろしをしていた力自慢の仲仕たちが、年に一度力くらべをしていました。その時に抱えた石に名前を刻みたたえました。



あの戦国武将が口にした
歴史の深い名水

柳水井

MAP▶P35 (C-1)

長江二丁目にある井戸で、豊臣秀吉が尾道に泊まった際に、この井戸の水で茶の湯をたてて献上したと言われている名水です。



尾道繁栄の生き証人
電話BOXと面白コロボ
クレーンのある電話BOX
MAP▶P36 (C-3)

大正から昭和にかけて尾道港で荷物の揚げ降ろしに活躍したクレーン。電話BOXとくっつけて面白い姿として残っています。

お寺巡りでパワーをいただく! 尾道古寺めぐり

潮待ちの港、北前船の寄港地として栄えた尾道には、海運に携わる豪商たちの寄進により、驚くほど多くのお寺が建てられました。情緒あふれる石畳や坂道を歩いて様々なお寺を巡り、パワーと癒しをもらいましょう。



西國寺 さいこくじ

仁王門にかけられた長さ2mの巨大な草履が目印

108段の石段や仁王門に2mもある大草履が下げられ、足の病氣にご利益があると喜ばれています。金堂と三重塔は国重文に指定されています。



大山寺 たいさんじ

天満宮と深い関わりを持つ
知徳学問にご利益のあるお寺

「天神坊」とも呼ばれ、隣接する御袖天満宮とは古えより縁が深い寺。地藏堂の「日限地蔵(ひぎりじぞう)」は心願成就の暁には軽々と持ち上ると言われます。

千光寺 せんこうじ

千光寺山よりまちを見守る
尾道のシンボリック的存在

舞台造りの本堂からは眼下に尾道水道、遠くには四国連山まで一望。「日本の音風景100選」に選ばれた鐘楼や、光る玉が海を照らしたという伝説の「玉の岩」もあります。



持光寺 じこうじ

石のまち・尾道を代表する
石造りの延命門が見事

尾道は石工が活躍した町で、堂々とした唐様の石門が目を引きます。参拝の折には願いを込めて作る「にぎり仏作り体験」も楽しめます。



天寧寺 てんねいじ

座禅体験もできる
曹洞宗の古寺

足利義詮が建立した国重文の塔婆「海雲塔」があり、五百羅漢像の並ぶ羅漢堂では座禅体験も。4月頃には牡丹、しだれ桜も見事です。

浄土寺 じょうどじ

多宝塔(国宝)など文化財の
宝庫として知られる“国宝の寺”

616年聖徳太子の創建と伝えられ、足利尊氏が戦勝祈願をした寺としても有名です。奥の院の展望台から見下ろす景色は尾道を代表する名景です。



世界に
一つだけの
手作りにぎり仏



西郷寺 さいごうじ

時宗の本堂としては他に類を見ない名建築

国重文に指定されている本堂は、時宗最古式を今に伝える貴重な建築です。内部には「鳴き龍天井」があり、手を打つと冴えた音が鳴り響きます。



常称寺 じょうしょうじ

不思議な夢のお告げで開基 別名「榎堂(かやどう)」

時宗二世の他阿真教上人が尾道で霊夢を見て、そこに生えていた榎の木で建立。本堂と、線路を挟んだ大門などは国重文に指定されています。



海龍寺 かいりゅうじ

技芸上達に靈験あらたかな 真言宗のお寺

鎌倉時代(1185~1333年)までは浄土寺の曼荼羅堂と呼ばれていました。人形浄瑠璃の文楽の供養塔があり、経塚に触れると技芸が上達すると言われています。



済法寺 さいほうじ

開山は宝暦3(1753)年笑堂行契大和尚。裏山石仏群は禅玄地を顕しています。當山9世物外不遷大和尚は、拳骨和尚と親しまれ多くの逸話を遺しています。



光明寺 こうみょうじ

承和年間(834~847年)に円仁和尚によって開基された天台宗のお寺で、建武3(1336)年に浄土宗に改宗。国の重要美術品で尾道市最古の仏像「金銅聖観音」があります。



海福寺 かいふくじ

元応2(1320)年但阿弥和尚の開基と言われています。「三つ首さま」と呼ばれる珍しい墓があり、首から上の病気を治すと言われ篤く信仰されています。



宝土寺 ほうどじ

本堂前の古い五輪塔は開山上人融海の墓と言われています。お寺の窯「無尽窯」もあり、尾道焼と呼ばれる陶磁器が展示されています。



信行寺 しんぎょうじ

ご本尊は阿弥陀如来で、浄土宗第二祖の聖光上人の開基と伝えられています。尾道~大阪航路を開いた廻船問屋・竹内要助一門の墓があります。



妙宣寺 みょうせんじ

日蓮宗のお寺で、本堂後ろに、熱心な日蓮宗徒でもあった武将・加藤清正を祀った清正堂があります。11~3月に咲く冬桜も見られます。



慈観寺 じかんじ

別名「牡丹寺」として有名で、4月20日頃には境内の庭一面に牡丹の花が美しく咲き乱れます。貞和4(1348)年、慈観上人の開基として知られます。



正授院 しょうじゅいん

応永年間、臨済宗の寺として開基、慶長6年、浄土宗の寺として改宗移転しました。文化財が多く所蔵されています。



善勝寺 ぜんしょうじ

天平時代(729~766年)の開基と伝えられ、慶長年間(1596~1614年)に真言宗に改宗。本尊は「菽の観音」と呼ばれる聖観世音。四国八十八箇所御砂踏霊場があります。



福善寺 ふくぜんじ

参道に登った境内は中世の山城「丹花城」跡で、城主親子の墓と言われる「石造五輪塔」が裏山に建っています。山門の彫刻も見事です。



持善院 じぜんいん

西園寺再興の僧・慶鏡(けいばん)の開基による真言宗の寺。境内には長寿の神・多賀皇神社が建ち、古い神仏習合の形式が残っています。



金剛院 こんごういん

所望悉地の烏天狗、石で造られた天狗の顔「重軽天狗」があり、願い事を念じつつ軽く持ち上がったならその願いが叶うと言われていいます。※H25年3月現在工事中



浄泉寺 じょうせんじ

シンボルでもある大屋根の上には量16枚くらいの大きさの鬼瓦が乗っています。4匹の鬼が担いでいる水盤のデザインもユーモラス。



正念寺 しょうねんじ

鎌倉仏の趣ある、珍しい木造半跏坐の阿弥陀如来像がご本尊です。延命地藏尊の前に湧く「延命井」の水は尾道随一の名水と親まれています。



尊光寺 そんこうじ

明暦3(1657)年の開基ですが、老朽化のため現代建築の本堂が再建されました。明治時代に鉄道で町が分断された折、唯一鉄道以南に残った寺です。



海徳寺 かいとくじ

時宗の開祖・一遍上人が諸国遊行の途中立ち寄った尾道で草庵を結び、念仏勧進されたのが始まりです。尾道地方でも最古の時宗道場です。

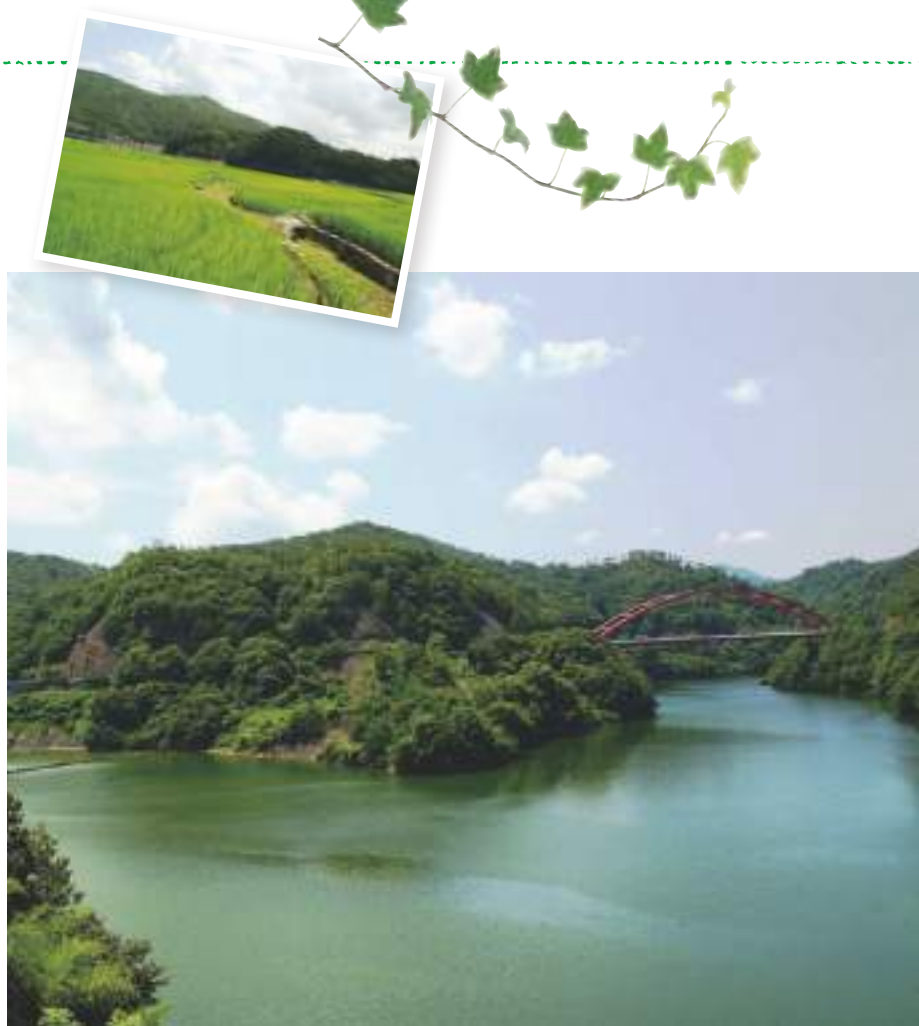


山紫水明の地が織りなす もうひとつの尾道

尾道市の北部に位置し、美しい自然に囲まれた田園の町・御調町。古代山陽道の官道として駅もあったといわれており、古くから交通の要衝として栄えてきました。現在では穏やかな時間が流れ、草花や木々が作りだす新鮮な空気を味わい、清らかな川のせせらぎを聞きながら、ふるさとの懐かしい時間を満喫できます。観光地として知られている「まちなみ」とは一味違った“尾道”をぜひ訪れてみてください。治水ダムとして建設された「御調ダム」や、「尾道ふれあいの里」では天然温泉で癒されます。お土産は「道の駅 クロスロードみつぎ」でどうぞ。



御調の干し柿





尾道初の大規模温浴施設 全13種類のお風呂が楽しめます

天然温泉「尾道ふれあいの里」 MAP▶P33 C-1

宿泊のできる大規模温浴施設としては尾道初。全部で13種類のお風呂が日替わりで楽しみ、西日本唯一のプラズマ大浴場や晴れた日はきれいな星空を眺めることができる源泉かけ流しの露天風呂が好評です。料理は尾道の山海の幸を中心としたメニューで、山里ならではのものをゆっくりと堪能できます。



尾道市御調町高尾1369 ☎0848-77-0177
 温浴施設:10:00~22:00(受付終了21:30)、
 各種予約受付:10:00~18:00 困なし
 料入浴:大人820円、小人510円(3歳~小学生以下) 宿泊:大人9,000円~(一泊2食)
 ※青少年・高齢者は宿泊料金割引あり



御調の自然と芸術を感じる道

いきいきロード

MAP▶P33 C-1

御調橋から丸河南橋までの御調川沿いに、約3.4km続く遊歩道です。周辺には、春にかけて見ごろを迎えるサツキやハナミズキ、秋に甘い香りを漂わせるキンモクセイなどが植えられており、四季折々の草花を楽しめます。また、地元出身の彫刻家、圓鍔勝三氏の作品【巣立ち】や圓鍔元規氏の作品【遙か】、世羅町出身の杭谷一東氏の作品【家族】といった彫刻作品も設置されており、自然と芸術が楽しめます。



人・情報が行き交う憩いの場 御調のおいしさも詰まっています

道の駅クロスロードみつぎ MAP▶P33 C-1

国道184号と486号の交差点に位置し、古くから山陽と山陰を結ぶ交通の要衝として栄えた場所にある施設で、平成27年4月にリニューアルオープンしました。物産売店、レストラン、野菜市では御調の美味しい特産品・食材などがそろい、休憩・情報コーナーでは交通・観光情報を提供しています。また敷地内には子ども図書館もあります。



物産売店



レストラン

尾道市御調町大田33 ☎0848-76-3115
 物産売店 9:00~19:00
 レストラン11:00~16:00
 野菜市 9:00~17:00
 ※第4火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

注目!



採れたて新鮮、厳選野菜 道の駅「野菜市」

御調町内や、その周辺の『厳選した農家』の『厳選した野菜』を豊富に取り揃えております。朝早くから多くのお客様でにぎわうため、早い時間帯のご来店をおすすめします。





季節ごとに違う風景を 風を切って楽しんでいきます。

9つの橋で広島県と愛媛県の島々を結ぶ「しまなみ海道」。日本で唯一の海峡を縦断する自動車+自転車・歩行者道で、多くのサイクリストに愛されています。尾道サイクリング協会に所属している魚谷さんは、週に1回、しまなみ海道でのサイクリングを仲間と共に楽しんでいます。「四季折々の自然を感じながら走ることができるのが魅力です。特におすすめは5月頃。みかんの花の甘い香りが島を包むんですよ」。レンタサイクルがあるので初心者でも安心ですが、同協会の理事長・濱本さんによると、「ママチャリやマウンテンバイクだとしんどいので、レンタルするならスポーツサイクルがいいですよ」とのこと。しっかりと装備を整えて、普段とは違う世界を楽しんでみてください。



尾道サイクリング協会:魚谷香緒里さん

POINT 1

美しい海と橋、
情緒あふれる島々が
織りなす絶景の中を、
風をきって走るサイクリングは
ここでしか楽しめません。

しまなみ海道の中で尾道市に位置するのは、3つの島と4つの橋です。美しい海と橋、島々が織りなす絶景の中を、個性的なスポットに寄り道しながら、ゆっくり走ってみませんか。お気に入りのスポットが見つかるはずですよ。

親子でも
サイクリングを
楽しめます



POINT 2

温暖な気候のしまなみ海道地域は、花や柑橘類の宝庫。
戦国時代の海の覇者、村上水軍ゆかりの地でもあります。



向島洋らんセンター

MAP▶P34 C-3

高見山の麓に広がり、温暖な気候を利用して洋らんの栽培や新品種の開発を行っています。2000平方メートルの憩いの広場や蘭の売店もあり、コンサートも行われます。

☎0848-44-8808 開9:00~17:00
休火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
観無料



因島フラワーセンター

MAP▶P34 E-3

因島フラワーセンターは、花壇、芝生広場を交流の場として無料で開放しています。家族で遊んだり、友人とゆったりくつろぐ場として利用してみませんか。

☎0845-26-6212(因島総合支所しまおこし課)
開9:00~17:00
休火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
観無料



因島水軍城

MAP▶P34 C-3

因島を拠点に南北朝から室町、戦国時代に活躍した村上水軍ゆかりの武具、甲冑を展示しています。村上水軍の墓所がある菩提寺もすぐ近くです。

☎0845-24-0936 開9:30~17:00
休木曜(祝日を除く)、年末年始
観大人330円(220円)、小人160円(110円)
※()内は30名以上の団体料金



《新尾道大橋》

MAP▶P34 C-3

尾道大橋と並行して架かる橋長546メートルの自動車専用橋。夕暮れからライトアップされます。

※新尾道大橋は自動車専用道のため、自転車・徒歩での通行はできません。



《因島大橋》

MAP▶P34 C-3

布刈瀬戸に架かる向島と因島を結ぶ美しい吊橋。橋長1270メートルで上下二重構造になっています。



《生口橋》

MAP▶P34 E-4

因島と生口島を結ぶ橋長790メートルの斜張橋。1991年の完成当時は世界一の斜張橋でした。



《多々羅大橋》

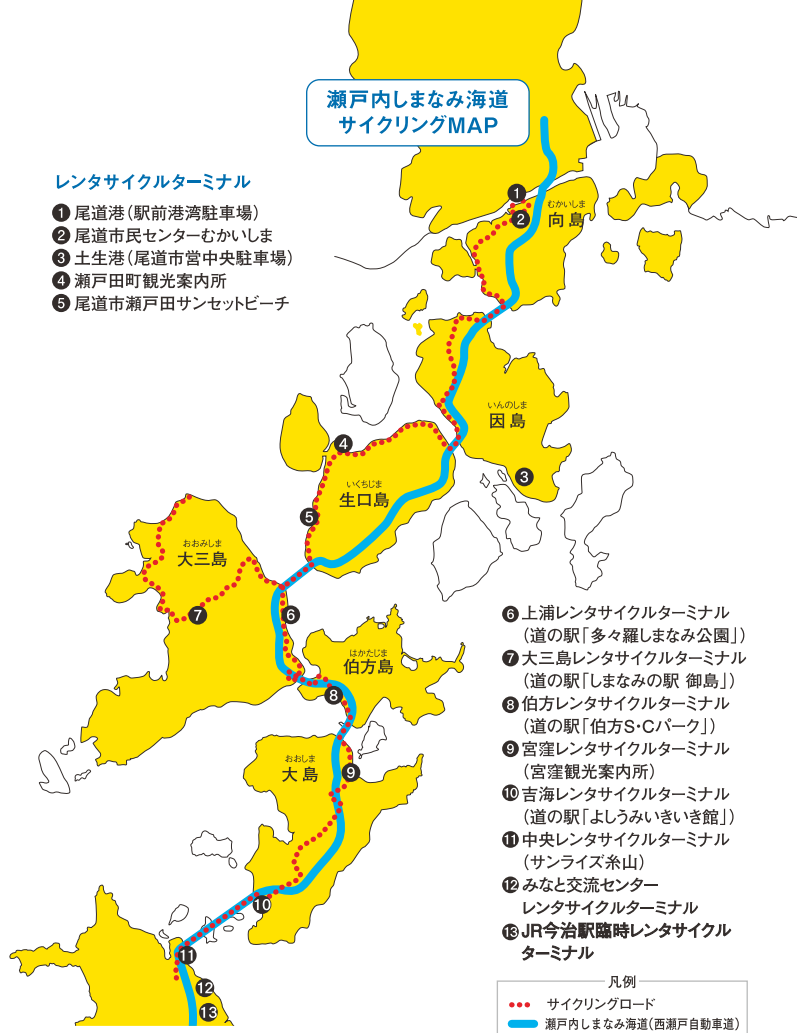
MAP▶P34 E-4

広島県と愛媛県を結ぶ世界一の斜張橋。橋長1480メートルで、その優雅な姿は羽ばたく鳥を思わせます。

瀬戸内しまなみ海道 サイクリングMAP

レンタサイクルターミナル

- 1 尾道港(駅前港湾駐車場)
- 2 尾道市民センターむかいしま
- 3 土生港(尾道市営中央駐車場)
- 4 瀬戸田町観光案内所
- 5 尾道市瀬戸田サンセットビーチ



凡例

- サイクリングロード
- 瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)

レンタサイクルのご案内

料金 貸出料金と保証料をいただきます

	貸出料金	保証料
大人	1日 1,100円	大人(中学生以上)
子ども(小学生以下)	1日 300円	1,100円
電動アシスト自転車(大人用のみ)	6時間以内 1,600円	子ども(小学生以下)
タンDEM自転車	1日 1,300円	500円

※自転車を借りたターミナルまたはそのターミナルと同じ島にあるターミナルに自転車を返却された場合は、保証料を返却いたします。それ以外のターミナルに自転車を返却(乗捨て)された場合は、保証料を返却できません。
※電動アシスト自転車およびタンDEM自転車は乗捨てできません。また、配置のないターミナルもあります。
※料金は改定する場合があります。

レンタサイクルターミナル

しまなみ海道沿線に13カ所設置(上記MAP参照)

(問合せ・予約先) (一社)しまなみジャパン

☎0848-22-3911(レンタサイクル事業本部)

尾道の島々

穏やかな瀬戸内海に点在する尾道の島々は、
温暖な気候に恵まれた四季折々の自然美と、独自の文化を楽しむことができます。

因島

因島は、豊かな自然が生み出す特産品や地域の伝統・文化を長年にわたって守り育んできました。



除虫菊 MAP▶P34 E-3

除虫菊はかつて殺虫剤の原料として栽培され、5月になると島々を真っ白にうめつくし、季節の到来を告げていました。現在は観賞用として島内3ヶ所で栽培されています。

八朔発祥の地

尾道の特産品である八朔は因島発祥と言われています。5月になると花を咲かせ、12月下旬～1月上旬にかけて甘酸っぱい実を付けます。



大浜崎灯台

MAP▶P34 C-3

大浜崎灯台は、明治27(1894)年に点灯して以来、今もなお現役です。隣接する建物は、潮流信号所として明治43(1910)年に創設され、現在は灯台記念館として灯台に関する資料が展示されています。[外観のみ見学自由](広島県重要文化財)



白滝山山頂からの眺め MAP▶P34 E-3

白滝山は標高約227m。その山頂からは、瀬戸内海の多島美が眼下に広がり、すばらしい眺めを見せてくれます。頂上には大小約700体もの五百羅漢の石仏がところ狭しと並んでおり、尾道市の名勝に指定されています。また、白滝山と除虫菊の風景は「にほんの里100選」に選定されています。

ちょっと寄り道!

本因坊秀策囲碁記念館

MAP▶P34 C-3

因島出身で、江戸時代に活躍した天才棋士「本因坊秀策」の功績を知ることができる記念館で、貴重な歴史資料やゆかりの品々を観ることができます。施設は生家を再元したものです。



尾道市
因島外浦町121-1
☎0845-24-3715
開10:00～17:00
(入館16:30まで)
☎火曜(祝日の場合は翌日)
年末年始
開 大人310円、
中学生以下無料、
団体(20名以上)
250円



本因坊秀策の碑
本因坊秀策はお城碁には敗れたことがなく、碁聖と呼ばれています。

向島

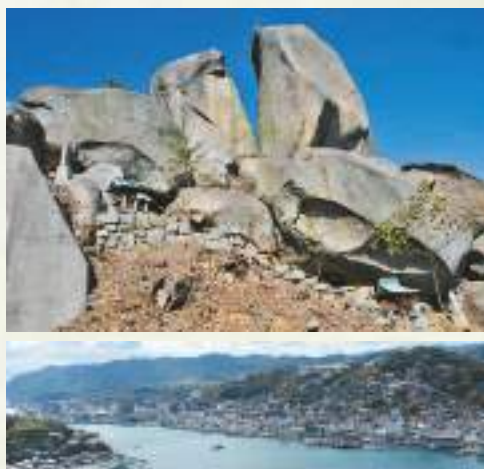
向島は温暖な気候で、洋らんなどの花々やミカンなどの果物の栽培が盛んな島です。



※平成30年7月豪雨により、高見山展望台へ向かう道が通行止めとなっております。(H30.12月現在)

高見山展望台 MAP▶P34 C-3

瀬戸内海随一の国立公園である高見山。標高283mにある展望台からは絶景が見渡せ、瀬戸内海に浮かぶ島々を一望できます。



岩屋山

MAP▶P36 D-4

標高102mの山頂付近には巨石群が点在しています。尾道三山(千光寺・西國寺・浄土寺)との位置関係等、謎の残るミステリースポット。また、尾道水道をさみ尾道市街を一望できるビュースポットです。

瀬戸田

瀬戸内海の中央に位置し、生口島と高根島からなる瀬戸田は、国産レモンの発祥の地でもあるかんきつの島です。



耕三寺・耕三寺博物館 MAP▶P34 E-4

耕三寺耕三和尚が母の菩提寺として建立した、浄土真宗本願寺派の寺院。堂塔の数々は国宝建築物を手本に作られています。その他にも重要文化財や美術品が展示しており、寺域全体を博物館として一般公開しています。

尾道市瀬戸田町瀬戸田553-2
☎0845-27-0800
開9:00~17:00 閉なし
(入館は16:30まで)
料大人1400円、
高校生800円、
中学生以下無料
※10名以上は団体割引あり

国産レモン発祥の地

国産レモンの発祥の地とされ、温暖な気候を利用したレモンの栽培が盛んです。




未来心の丘

MAP▶P34 E-4

耕三寺博物館の一角、小高い丘に展開する大理石の環境造形。国際的な彫刻家である杭谷一東氏の作品で、瀬戸内の海と調和した造形美が人々を魅了します。


夜の尾道

まち歩きが楽しい尾道の観光ですが、
昼間とはがらりと表情を変える「夜の尾道」も格別です。
お寺や港、橋に路地までライトアップされたこの夜景は、
尾道でしか出会えません。



①天寧寺の海雲塔越しに見る尾道の
まちなみです。尾道を代表する夜景ス
ポットです。

写真の景色を見るには → P35 MAP C-2



②JR尾道駅前から尾道水道をはさんだ向
かいにある造船所のクレーンです。週末に
なるとカラフルにライトアップされます。
(金・土曜、祝日の前日の日没~22:00)

写真の景色を見るには → P35 MAP A-4



③尾道大橋、新尾道大橋の夜景です。週末になるとライトアップされます。

写真の景色を見るには → P35 MAP C-2

④桜が満開の時期の千光寺公園。夜景100選にも選ばれている絶景です。
写真の景色を見るには→ P35 **MAP B-2**



⑤尾道を代表する坂道、千光寺新道も街灯に照らされ、ここから見降ろす夜景も情緒があります。
写真の景色を見るには→ P35 **MAP C-3**



⑥尾道水道沿いの渡船の灯りや寺のライトアップなど、尾道の夜景が凝縮されています。
写真の景色を見るには→ P36 **MAP E-2**



⑦尾道浄土寺の夜景です。毎日ライトアップされます。
写真の景色を見るには→ P36 **MAP D-3**



おのみち文学の館

多くの作家が愛し、
作品の舞台とする

おのみち
文学の館

3つの施設を回って、尾道ゆかりの作家の足跡を訪ねる。

☎ 10:00~16:00(入館は閉館の30分前まで)

☎ 毎週火曜日、年末年始 ☎ 3館共通300円(20名以上の団体:240円)



文学記念室 MAP▶P35 C-2

林芙美子の書斎が再現されているのははじめ、高垣眸、麻生路郎、横山美智子、行友李風、山下陸奥など、尾道ゆかりの文学者の愛用品や書簡などを展示しています。

尾道市東土堂町13-28

☎(0848)22-4102



林芙美子

「海が見えた。海が見える。五年振りに見る尾道の海はなつかしい…」代表作『放浪記』や『風琴と魚の町』で尾道の風景を鮮やかに描いた芙美子は、小学生から高等女学校を卒業するまでを尾道で過ごし、生涯この地を愛しました。JR尾道駅の東、商店街アーケード入り口には芙美子像があり、芙美子が住んでいた家の近くの路地は、連続テレビ小説「うず潮」にちなみ「うず潮小路」と名付けられています。



志賀直哉旧居 MAP▶P35 C-3

白樺派を代表する作家で、“小説の神様”と呼ばれた志賀直哉が、友人が誉めていた尾道におもむき、千光寺山の中腹にある小さな棟割長屋で暮らし始めたのは大正元(1912)年のこと。尾道に暮らしたのは半年ほどですが、尾道水道の向こうに造船所や石切り場跡が見えるここからの眺望を、代表作『暗夜行路』で印象的に記しました。六畳と三畳に台所というつつましい住居が今も当時のまま残されています。

尾道市東土堂町8-28

☎(0848)23-6243



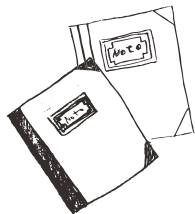
中村憲吉旧居 MAP▶P35 C-2

アララギ派のリーダーとして活躍した近代日本を代表する歌人、中村憲吉は病におかされて、昭和8(1933)年、おだやかな尾道の千光寺山中腹へ転地療養しました。尾道水道を一望する風景は憲吉の心をなぐさめ、斎藤茂吉をはじめ多くの文人が見舞いに訪れましたが、看病のまいなく昭和9(1934)年5月5日にこの地で46歳の短い生涯を閉じました。当時の主屋は取り壊され、憲吉が闘病生活を送った離れを改修して公開しています。

尾道市東土堂町15-10

☎(0848)20-7514

(尾道市文化振興課)



文学のこみち

自然石に刻まれた25の文学碑から、尾道を愛した文人の思いが伝わってきます。



徳富蘇峰 文学のこみちMAP 1
◎とくとみ そほう

『国民新聞』を創刊。大著『近世日本国民史』を著すなど、多彩な分野で活躍した評論家。徳富蘆花は実弟。



前田曙山 文学のこみちMAP 2
◎まえだしよざん

明治時代中期から活躍した大衆小説の作家。雑誌『園芸之友』を発刊するなど、園芸家としても活躍した。



正岡子規 文学のこみちMAP 3
◎まさおかしき

俳句誌「ホトギス」を創刊し、俳句や短歌を革新した。『病牀六尺』『墨汁一滴』などの随筆でも知られる。



物外 文学のこみちMAP 4
◎もつがい

柔術「不遷流」の開祖で、多くの俳句や書画を残し「拳骨和尚」の異名でも知られる。済法寺の住職だった。



十返舎一九 文学のこみちMAP 5
◎じっぺんしゃ いっく

江戸時代後期の戯作者で、弥次郎兵衛、喜多八の迷コンビを主人公にした『東海道中膝栗毛』で知られる。



金田一京助 文学のこみちMAP 6
◎きんだいち きょうすけ

アイヌ文学の研究で知られる言語学者。石川啄木の親友で、彼を金銭などさまざまな面で支えた。



江見水蔭 文学のこみちMAP 7
◎えみ すいゐん

尾崎紅葉が主宰した硯友社の同人として知られる小説家。主著は『自己中心明治文壇史』。岡山市生まれ。



志賀直哉 文学のこみちMAP 8
◎しが なおや

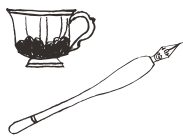
大正元(1912)年秋から、翌2年の中頃まで尾道に住み、その情景を代表作『暗夜行路』に描いた。この碑は、画家の小林和作が筆をとったもの。



林芙美子 文学のこみちMAP 9
◎はやし ふみこ

大正5(1916)年に尾道に移り住み、尾道第二尋常小学校(現・土堂小学校)、尾道高等女学校(現・尾道東高校)で学んだ。この碑は、小学校時代の恩師小林正雄が筆をとった。

千光寺山山頂から続く
文学の散歩道





緒方洪庵 文学のこみちMAP 10

◎おがた こうあん

幕末の蘭学者で、天然痘治療などに貢献し、日本近代医学の祖とされる。岡山市出身で、幕府の侍医も務めた。



巖谷小波 文学のこみちMAP 11

◎いわや さざなみ

硯友社同人として小説家デビューした後、児童文学に転じて、日本や世界のおとぎ話をまとめた。



山口玄洞 文学のこみちMAP 12

◎やまぐち げんどう

尾道市に生まれ、上京して実業家として大成。尾道市の上水道敷設や明徳商業学校の創設などに貢献した。



山口誓子 文学のこみちMAP 13

◎やまぐち せいし

「ホトギス」を経て、「天狼」を主宰。新興俳句運動の指導者として知られ、朝日俳壇の選者も長く務めた。



柳原白蓮 文学のこみちMAP 14

◎やなぎはら びやくれん

伯爵家に生まれた女流歌人で、大正三美人と言われた一人。尾道へ歌行脚に来た際に、数首を残している。



河東碧梧桐 文学のこみちMAP 15

◎かわひがし へきごとう

正岡子規に学び、高浜虚子とともに二俊秀と称された俳人。ジャーナリスト、登山家としても活躍した。



竹田・竹下・伯秀 文学のこみちMAP 16

◎ちくでん・ちっか・はくしゅう

大分の文人たちが千光寺山に登り、残花を束ねて玉の岩かげに葬り、盃の酒を注いで詩を作り、石に刻んだ。



松尾芭蕉 文学のこみちMAP 17

◎まつお ばしゅう

寛政4(1792)年10月12日、尾道の俳人たちが芭蕉翁百年祭を営み、記念としてこの句碑を建立した。



中村憲吉

文学のこみちMAP 18

◎なかむら けんきち

広島県三次市に生まれ、「アララギ」で活躍。近代短歌史上で高く評価され、一般にも広く愛唱される歌人。



俚謡

文学のこみちMAP 19

◎りよう

港町・尾道で歌い継がれてきた、いつ頃、誰が作ったともわからない歌の一つが刻まれている。



吉井勇

文学のこみちMAP 20

◎よしい いさむ

「明星」や「スバル」で活躍した歌人。51歳で四国路、中国路を歌行脚した時の短歌が刻まれている。



古歌

文学のこみちMAP 21

◎こか

尾道の港を謳った歌として、古くからまちの人々に愛謡されてきたもの。これも作者の名は伝わっていない。



小杉放庵

文学のこみちMAP 22

◎こすぎ ほうあん

風刺画、洋画、筆絵など、多彩なジャンルで活躍した画家。日露戦争に従軍し、反戦詩画集も発表した。



菅茶山

文学のこみちMAP 23

◎かん ちゃざん

福山市神辺町出身の儒学者、漢詩人。その私塾「廉塾」は高名で、全国から数千人が訪れ学んだという。



陣幕久五郎

文学のこみちMAP 24

◎じんまく きゅうごろう

島根県に生まれて尾道で力士になり、江戸に出て第十二代横綱となる。光明寺に墓と手形の石碑がある。



頼山陽

文学のこみちMAP 25

◎らい さんよう

広島市出身の歴史家、漢詩人。尾道には平田玉蘊など文雅の友が多く、幾度も訪れて詩を作った。





小林和作「海(三浦半島)」1966年 油彩、カンヴァス



尾道市立美術館 MAP▶P35 E-2

千光寺公園にある、安藤忠雄設計によるモダンな美術館。小林和作や平田玉穂など尾道ゆかりの作家や世界の名画を幅広く収蔵・展示。館内にはしまなみ海道を一望できるカフェもあります。

尾道市西土堂町17-19

☎0848-23-2281

🕒9:00~17:00(入館は16:30まで)

🗓月曜(祝日の場合は開館)、

年末年始、展示替期間

🗨️展覧会ごとに異なるので、要問合せ

美術館を訪ねれば、 あなたの好きな作品に 出会えるはず。

「芸術のまち」尾道にある美術館では世界的に有名な
芸術家の作品から、尾道ゆかりの芸術家の作品まで、
幅広いジャンルの芸術を楽しむことができます。

その中にはきっと、あなたのお気に入りの作品があるはずです。



平山郁夫美術館 MAP▶P34 E-4

現代日本画家を代表する平山郁夫の故郷、
瀬戸田町にある美術館。画家の生い立ちや
少年時代から晩年までの貴重な作品を展
示。一辺の長さ80mを越す瓦葺切妻屋根
の建物で、館内には瀬戸内海をモチーフに
した中庭に面したカフェや、ミュージアム
ショップ、ハイビジョン室もあります。

尾道市瀬戸田町沢200-2

☎0845-27-3800 🕒9:00~17:00

(入館は16:30まで) 🗓無休 ※展示替えなどのため、臨時に一部展示室がご覧になれないことがあります。

🗨️大人920円~高校・大学生410円、小・中学生210円

※10名以上の団体1割引



絲綢の路 バミール高原に行く



尾道市立大学美術館

MAP▶P36 E-3

洋画の巨匠、梅原龍三郎の旧宅を復元
した美術館。尾道市立大学の学生や教員、卒
業生による個性豊かなアート作品が展示
されています。入館は無料です。

尾道市久保三丁目4-11

☎0848-20-7831 🕒10:00~18:00

🗓水・木曜(祝日の場合は開館)、年末年始

🗨️無料



おのみち歴史博物館 MAP▶P36 E-3

広島県の銀行発祥の地、銀行浜に残る
大正時代の銀行を改装した博物館。尾道
遺跡の出土品や地元の豪商坂井家ゆか
りの書や絵画、紙本着色尾道絵屏風陶
板など、貴重な資料が展示されています。

尾道市久保一丁目14-1

☎0848-37-6555 🕒10:00~18:00

(入館は17:30まで)

🗓火曜(祝日の場合は翌日)、展示替え等のため臨時休館有り
年末年始

🗨️大人210円(20名以上の団体170円)

(共通券520円)、中学生以下無料



おのみち海辺の美術館

MAP▶P35 B-3

尾道水道沿いの遊歩道の壁面約150メートルに渡って、「絵のまち尾道四季展」のグランプリ作品など、尾道のまちなみや生活風景などをいきいきと描いた作品が飾られています。



マリー・ローランサン / 母と子



ポール・アイズピリ / 尾道



ラウル・デュフィ / パラ



なかつ美術館 MAP▶P35 A-2

栗原川のほとりにある閑静な美術館。巨匠ポール・アイズピリをはじめ、フランスの近・現代絵画を中心に約200点を収蔵・展示。併設の本格フレンチレストラン「ロセアン」も人気です。

尾道市潮見町6-11 ☎0848-20-1218

開9:00～17:30(入館は17:00まで)

休月曜(祝日の場合は翌日)、夏期、年末年始、展示替え日

料大人800円(20名以上の団体500円)、学生300円
※特別展の場合変更あり



三日月と母子像



古の話



えんつばかつぞう

圓鏝勝三彫刻美術館 MAP▶P33 C-1

尾道市御調町の出身で、文化勲章を受章した彫刻家、圓鏝勝三の人間愛あふれる彫刻作品を数多く収蔵・展示。美術館周辺には、創作棟や芝生公園などもあり、家族でゆっくり楽しめます。

尾道市御調町高尾220 ☎0848-76-2888

開9:00～17:00(入館は16:30まで)

休月曜(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

料大人420円、高校生310円、中学生以下無料

※20名以上の団体2割引

日月光

ココもCheck!!

江戸や昭和にタイムスリップ! 街中の癒し空間



尾道アート館 福石猫の館 MAP▶P35 C-2

昭和初期の古民家を修復した山手の個人的なアートのスペース。福石猫が約200体置かれているほか、おみくじ猫や福石猫神社など楽しい仕掛けが満載です。

尾道市東土堂町19-22 ☎0848-23-4169
開11:00～16:30 休水曜、雨の日 料200円



招き猫美術館 in尾道 MAP▶P35 C-2

大正時代の民家を改造して作ったネコの額ほどの美術館。1階には招き猫神社、2階には全国から集められた約3千体の招き猫コレクションの展示をしています。

尾道市東土堂町19-26 ☎0848-25-2201
開平日11:00～17:00、土・日・祝10:00～17:00
休木曜 料中学生以上300円、小学生100円



そうらいけんていえん 爽籟軒庭園 MAP▶P36 D-2

江戸時代の豪商、橋本家の別荘で、趣向を凝らした庭園や京都にある国宝「妙喜庵待庵」の写しとされる茶室「明喜庵」が、四季折々の自然の中で楽しめます。

尾道市久保二丁目6-6 ☎0848-20-7492 開(4月1日～10月31日)
10:00～17:00、(11月1日～3月31日)10:00～16:00 休月～金曜
※土・日曜、祝日、1月2・3日は開園 料大人100円

身近に息づく芸術のまち

多くの芸術家に愛された尾道は、市民はもとより訪れた人々の創作意欲をかきたてるまちです。尾道を旅して受けたインスピレーションを、作品にしてみてください。

島ごと美術館

生口島と高根島からなる瀬戸田町には全部で17の野外彫刻が点在しています。著名な美術評論家推薦の作家たちが、それぞれ作品の設置場所を自由に選び、そこからイメージして作られた作品や寄贈された作品で構成されています。自然の中で身近にアートを感じることができるまち、瀬戸田町を楽しんでください。



高根島

生口島



波の翼 / 新宮 晋



ねそべり石 / 山口牧生



うつろひ / 宮脇愛子



CATS DANCE / 滑川公一



空へ / 眞板雅文



塩池 / 青木野枝

絵のまち尾道四季展

絵のまち尾道四季展は昭和58(1983)年に第1回展を開催して以来、2年に一度の開催を続けています。平成28(2016)年度の第17回展には、全国34都道府県より520人、632点にもものぼる作品が寄せられており、全国の絵画愛好家たちに支持されています。

開催：2年に1度
テーマ：尾道の風景及び風俗、祭り、行事などでその特徴を取り入れたもの。
応募資格：作品搬入時に満18歳以上の者。(高校生を除く)
問合せ先：0848-23-2281(尾道市立美術館)



第17回展【平成28(2016)年度】
尾道賞《グランプリ》
坐・千光寺山(春)／小川公久(広島県)



第16回展【平成26(2014)年度】
尾道賞《グランプリ》
小休止／土肥健次(山口県)

高校生絵のまち尾道四季展

高校生の若く瑞々しい感性で作品を描いてもらおうと、全国公募展を開催。平成29(2017)年度の第9回展には317点の作品が寄せられました。

開催：2年に1度
テーマ：尾道の風景、風俗、祭り、及び行事などで、尾道の特徴を取り入れたもの。
応募資格：作品搬入時に高校生
問合せ先：0848-23-2281(尾道市立美術館)



第9回展【平成29(2017)年度】
尾道賞
灯籠／花坂亜美(前橋市立前橋高等学校)

写真のまち尾道四季展

プロ・アマ問わず応募することができ、平成29(2017)年度の第8回展には全国から1,526点もの応募がありました。

開催：2年に1度 テーマ：尾道市を題材としたもの 応募資格：プロ、アマチュアを問いません 問合せ先：0848-38-9184(尾道市観光課)



第8回展大賞
負けるもんか！／高橋純寿



第8回展金賞
接戦／田中泰生



第8回展金賞
日課／坂井勝三

映画の女神に 愛されるまち尾道の ロケ地めぐり

movie
location



坂を歩けばノスタルジックなまち並みが続き、高台から見降ろせば尾道水道ごしに瀬戸の島々が広がる。歴史が育んできた尾道の独特な風景は、地元出身の大林宣彦監督の作品や世界の映画ファンから愛される名作「東京物語」など、さまざまな映画の舞台に使われてきました。映画の主人公になった気分で、ロケ地めぐりに出かけませんか。



住吉神社 MAP▶P36 C-3

小津安二郎監督の代表作「東京物語」のロケ地になった、港の守護神とされる神社です。



巖島神社 MAP▶P34 E-3

「男たちの大和/YAMATO」で登場する浜辺と赤い鳥居は、周囲7.5kmほどの岩子島にあります。



御袖天満宮 MAP▶P36 C-2

境内に上がる石段が大林宣彦監督の尾道三部作第1作「転校生」に登場します。



長神社 MAP▶P35 C-2

大林宣彦監督の尾道三部作第2作「時をかける少女」などのロケ地。旧市内で最古の神社です。



西願寺下の四ツ角 MAP▶P34 C-3

大林宣彦監督の尾道三部作第3作「さびしんぼう」のロケ地。西願寺の境内も映画に登場しました。



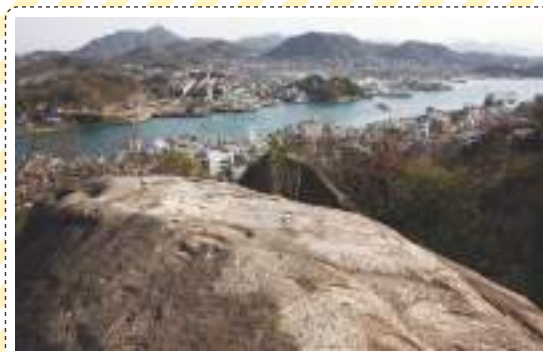
吉田邸 MAP▶P36 C-2

大林宣彦監督の尾道新三部作第1作「ふたり」の事故現場シーンのロケ地。今でもファンが訪れます。



兼吉バス停 MAP▶P35 C-4

大林宣彦監督の尾道新三部作第2作「あした」のロケセット(船の待合所)は向島・兼吉に移築されています。



ポンポン岩 MAP▶P35 C-2

大林宣彦監督の尾道新三部作第3作「あの、夏の日-とんでろ じいちゃん」のロケ地にもなった奇岩巨石。

ロケ地と共に訪れて欲しい “尾道の映画”が分かる資料館

尾道を舞台にした映画の貴重な資料を数多く展示

明治時代の白壁の倉庫を改装した、ロケ地めぐりの途中でぜひ立ち寄りてほしい映画資料館。入口には館のシンボルとなっている映写機が置かれており、記念撮影する人の姿も見られます。

おのみち映画資料館

MAP▶P36 C-3

尾道市久保一丁目14-10 ☎0848-37-8141

開10:00~18:00(入館は17:30まで)

休火曜(祝日の場合は翌日)年末年始

開一般520円(20名以上の団体420円)

中学生以下無料



世界の“OZU” の魅力を紹介 「小津安二郎の コーナー」

シナリオ、ロケハン、美術、照明、衣装などさまざまな視点から巨匠に迫ります。

ロケ地めぐりに 役立つ 「尾道ロケ写真 のコーナー」

映画会社ごとに特集を組むなど、尾道ロケの映画をスチール写真などで紹介します。



尾道ゆかりの 名画を上映 「シアタールーム」

「東京物語」の予告編が常時見られるほか、尾道ゆかりの作品を定期的にも上映します。

四季の彩り

活気あふれる港町の伝統と季節の風情

春

SPRING

光のどかな瀬戸の海に
照り映える花々の色彩



千光寺公園の桜

尾道水道を見下ろす標高144.2メートルの千光寺山。山頂から広がる千光寺公園は「日本さくら名所100選」にも選ばれています。
4月／千光寺公園 **MAP▶P35 C-2**
ソメイヨシノ、しだれ桜



名荷神楽

4月第1日曜日／名荷神社
MAP▶P34 C-4

疫病退散と豊作を願い室町時代から伝わる神楽。約200年前の衣装も残っており、古式をよく今に伝えています。県無形民俗文化財に指定されています。



春観音まつり

4月第3土曜日、日曜日／浄土寺
MAP▶P36 C-3

聖徳太子の創建と伝えられる浄土寺で盛大に法要が営まれます。古式ゆかしい大草流包丁式奉納など見どころもいっぱいです。



尾道みなと祭

4月第4土・日曜日／駅前港湾緑地他
MAP▶P35 C-3

尾道の港湾整備を行った平山角左衛門翁の功績を讃え、尾道の発展を願って開催。「ええじゃんSANSAがり」踊りコンテストなどが行われる賑やかな祭りです。

夏

SUMMER

爽やかな海風が、
輝く島々を吹き抜ける



おのみち住吉花火まつり

7月下旬か8月上旬の土曜日／
住吉神社・尾道水道一帯
MAP▶P36 C-3

海を守る住吉神社の、江戸時代から続く壮麗な夏の例祭。尾道水道を提灯で飾られた御座船が行き交い、約13,000発の花火が夜空を染め上げます。



祇園祭

6月下旬／渡し場・八坂神社
MAP▶P36 C-3

八坂神社の例祭。御神体をのせた三体の御輿が、一本の轆の周りを回って奪い合う「三体廻し」が見どころ。間近で見て体験したい、手に汗握る迫力です。



灯籠流し

8月／瀬戸田水道
MAP▶P34 C-4

真言宗地蔵院の夏の行事で、約1,500個もの灯籠を西方浄土へと向けて流します。瀬戸田水道の引き潮に乗って夜の海を流れていく灯籠はまるで宝石のよう。



因島水軍まつり

火まつり
海まつり

8月最終土・日曜日／因島アメニティ公園他
MAP▶P34 C-3

因島を拠点に活躍した因島村上水軍にちなんだ行事です。水軍武者行列や伝令船「小早(こはや)」のレースなど、歴史と伝承を楽しく体験できます。

秋

AUTUMN

坂道の石畳に遊ぶ
木もれ日を追いかけて



尾道灯りまつり

10月中旬／駅前港湾緑地・古寺他
MAP▶P35 (A-3)

約30,000個のぼんぼりが尾道駅前港湾緑地やお寺の参道などを照らし出します。北前船の時代の常夜灯を彷彿とさせる情景です。



尾道ベッチャー祭り

11月3日／一宮神社他
MAP▶P35 (E-3)

江戸時代の厄除けに始まり、三種の面をつけた氏子と獅子がササラや祝い棒で子ども達を追い回す奇祭です。頭を叩いてもらって一年間無病息災と言われます。



冬

WINTER

さえざえと晴れ渡った空に、
祈りよ届け



火渡り柴燈護摩

1月8日／西國寺
MAP▶P36 (D-1)

檜の薪に神聖な火をおこし、願いを込めた護摩木をくべていきます。その後、一年間の無病息災・家内安全・商売繁盛を祈願して火渡り神事も行われます。



百島お弓神事

1月中旬／百島八幡神社
MAP▶P34 (C-3)

室町時代の嘉吉の乱で破れ、百島に住みついた赤松氏一族が弓の稽古に励んだのが始まり。中心に素焼きのカワラケを付けた的を射って、五穀豊穡を願います。



節分会

2月3日／西國寺
MAP▶P36 (D-1)

行基創建と伝わる西國寺にて、その年の幸福を授かる「福笑い」の行事から始まります。年男たちがかけ声に合わせて豆まきをして一年間の無病息災を祈ります。



山波とんど行事

1月14日に近い日曜日
／山波小学校グラウンド
MAP▶P34 (C-2)

江戸時代に始められたと伝えられ、尾道市民俗文化財に指定されています。とんどの上部にはその年の十二支を飾りつけ、「とんど囃し」を唄いながらかついで練り歩きます。

鮮やかな彩りが目にまぶしく
人々の朗らかさに心和ませる
今、かけがえのない思い出を作る旅



【名物】
全国ブランドへ
認知度上昇中！

尾道ラーメン

小魚でだしを取り、しょうゆ味をベースに豚の背脂を浮かべたスープが特徴。全国からラーメンマニアが訪れ、各店が味を競っています。



尾道焼き

尾道産のいか天とゆでた麺をベースに、砂ずりや海の幸を入れて焼いた尾道発のB級グルメとして注目されています。

ONOMICHI 味めぐり

【山の恵み】

太陽を受けて
すくすく育った果実たち

温暖な気候と多彩な風土、
伝統が生んだうまいものが勢ぞろい。



干し柿

尾道市御調町は、干し柿の産地として有名です。シーズンには、彩り鮮やかな秋の風景となっています。

いちじく

尾道市は蓬莱柿(ほうらいし)という、とても甘い品種の生産量が日本一です。



みかん

段々畑にみかんが実る風景は瀬戸内海の風物詩。シーズンには尾道大橋周辺から、向島、因島、生口島まで、さまざまな場所で見かん狩りが楽しめます。

はっさく

尾道市因島は、はっさく発祥の地。サクサクとした歯ざわりと独特の苦み、さっぱりとした風味が魅力で、はっさくのゼリーや大福も人気です。



レモン

国産レモンは尾道市瀬戸田町が発祥地で、生産量は全国一。極力農薬の使用をひかえた減農薬栽培で、除草剤はもちろん防カビ剤も一切使っていません。

【郷土料理】

風土が育んだ
伝統の美味しさ



水軍鍋

村上水軍が出陣前に海辺で魚介類を入れた鍋を食べていたという故事に基づく創作鍋。八方の敵を食らうという意味からタコがメイン食材で、最後は麦飯を入れて雑炊にします。

おこぜの唐揚げ

その姿に反して上品な味わいのおこぜを姿のまま唐揚げした、歯ごたえの良い尾道の名物料理。通年食べられていますが、冬から春にかけてが一番美味しいとされています。



瀬戸の浜子鍋

瀬戸田で採れるタコや貝など新鮮な魚介類や野菜をたっぷりいれ、地味噌で煮込んだ土鍋料理。塩田で働く人たち(浜子)が好んで食べた伝統料理です。



鯛の浜焼

真鯛の内臓を取り除き、一尾丸ごと塩蒸しにしました。平安時代から朝廷に献上されていたという歴史を誇り、尾道の祝い事には欠かせない瀬戸内海の珍味です。



わけぎぬた

尾道市はわけぎの生産量が日本一。さっと茹でて、酢味噌で和えたわけぎぬたは、わけぎの代表的な料理です。

【海の幸】

瀬戸内海の魚介類

干しだこ

たこつぼで獲ったたこを、一匹一匹手間暇をかけて干して作ります。細かく切ってごはんと一緒に炊きたご飯など、さまざまな食べ方があります。

キジハタ(あこう)

全国的に漁獲量が極めて少ないため、「幻の高級魚」と呼ばれており、尾道市では稚魚の放流事業を進めています。刺身はもちろん、煮つけや酒蒸しにしても美味しいです。



でべら

タマガンゾウピラメ(通称でべらかれい)を塩水で洗い、干して作ったもので、冬が旬。焼いたり、唐揚げにしたりして食べ、べら酒も人気です。



世羅IC
 (中国やまなみ街道)
尾道自動車道
 中国横断自動車道尾道松江線

尾道市

福山市

三原市

今治市

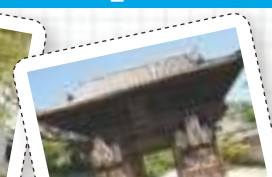
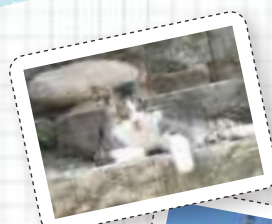
瀬戸内海

- サイクリングロード
- 🚲 レンタサイクルターミナル
- 📶 Wi-Fi Free Spot

お気に入りを見つける旅

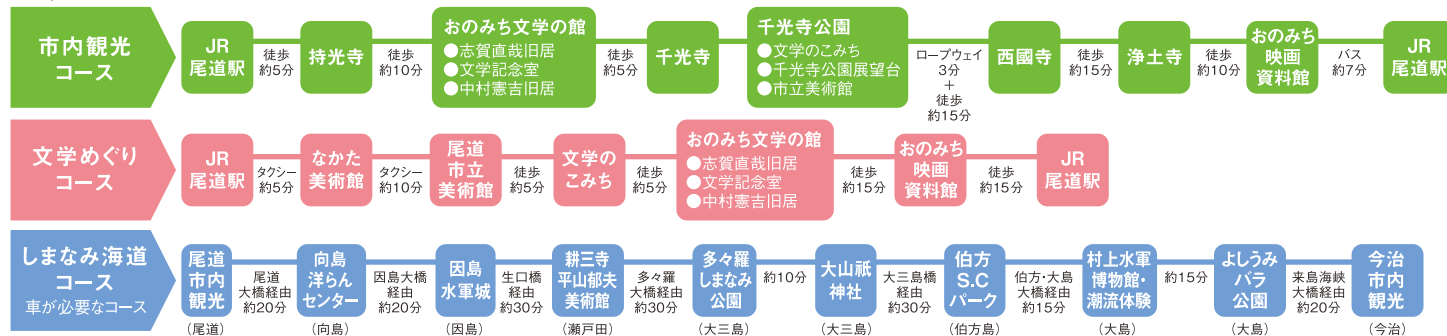
おのみち散策MAP





尾道の歩き方

■モデルコース



■観光ガイド

尾道市シルバー人材センター (☎0848-20-7700)、観光パートナー尾道の会 (☎0848-36-5495)、因島観光ガイドつれしお会 (☎0845-26-6111)、しまなみガイド瀬戸田会 (☎0845-27-0051)
※申込は5日前までに

■千光寺山ロープウェイ

●料金

大人	片道320円・往復500円	※団体30名以上1割引
子ども	片道160円・往復250円	

●運行時間

9:00～17:15 (15分間隔で運行)
※観桜期・GW・夏期・元日は運行時間を延長

●運休日

無休
但し修繕工事中は運休

●電話・所在地

☎0848-22-4900
尾道市東土堂町20-1 (山頂駅)

■おのみちフリーパス おのみちバス指定区間1日乗車券+千光寺山ロープウェイ往復のセット券

大人	600円	バス指定区間：東西方行き(尾道国際ホテル前～尾道駅前～浄土寺下～山波)
子ども	300円	南北方面行き(新尾道駅～長江・栗原・桜土手経由～尾道駅前)

観光施設案内

	施設名	電話・所在地	料金・入館料	時間【休業日】
尾道市街	志賀直哉旧居	0848-23-6243 尾道市東土堂町8-28	3館共通入館券 大人:310円(250円) 中学生以下:無料 ※()内は、20名以上の団体料金	3館共通 10:00～16:00 ※入館は閉館の30分前まで [毎週火曜日、年末年始]
	おのみち文学の館	0848-22-4102 尾道市東土堂町13-28		
	中村憲吉旧居	尾道市東土堂町15-10 (千光寺公園内)		
	おのみち映画資料館	0848-37-8141 尾道市久保一丁目14-10	大人:520円(420円)、中学生以下:無料 ※()内は、20名以上の団体料金 ※おのみち歴史博物館との共通券もあります	10:00～18:00(入館は17:30まで) [火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始]
	おのみち歴史博物館	0848-37-6555 尾道市久保一丁目14-1	大人:210円(170円)、中学生以下:無料 ※()内は、20名以上の団体料金 ※おのみち映画資料館との共通券もあります	10:00～18:00(入館は17:30まで) [火曜(祝日の場合は翌日) 年末年始、展示替え等]
	そうらいけんていえん 爽籟軒庭園	0848-20-7492 尾道市久保二丁目6-6	大人:100円(80円)、中学生以下無料 ※()内は、20名以上の団体料金	(4月1日～10月31日)10:00～17:00、(11月1日～3月31日)10:00～16:00 [※土・日曜、祝日、1月2・3日のみ開園]
	尾道市立美術館	0848-23-2281 尾道市西土堂町17-19	特別展により異なります	9:00～17:00(入館は16:30まで) [月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始・展示替え期間 ※特別展の場合変更があります]
	尾道市立大学美術館	0848-20-7831 尾道市久保三丁目4-11	無料	10:00～18:00 [水・木曜(祝日の場合は開館)、年末年始]
	なかた美術館	0848-20-1218 尾道市潮見町6-11	大人:800円(団体20名以上500円)、中・高・大学生:300円 ※特別展の場合変更あり	9:00～17:30(入館は17:00まで) [月曜(祝日の場合は翌日) 夏期・年末年始・展示替え日]
	浄土寺宝物館	0848-37-2361 尾道市東久保町20-28	大人:400円、高校生以下:200円 ※団体30名以上1割引	9:00～17:00(入館は16:30まで) [無休]
因島	因島水軍城	0845-24-0936 尾道市因島中庄町3228-2	大人:330円(220円)、小・中学生:160円(110円) ※()内は、30名以上の団体料金	9:30～17:00 [木曜(祝日を除く)、年末年始]
	本因坊秀策囲碁記念館	0845-24-3715 尾道市因島外浦町121-1	大人:310円(団体20名以上250円)、中学生以下:無料	10:00～17:00(入館は16:30まで) [火曜(祝日の場合は開館)、年末年始]
	尾道市因島フラワーセンター	0845-26-6212 尾道市因島重井町1182-1	無料	9:00～17:00 [火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始]
向島	向島洋らんセンター	0848-44-8808 尾道市向島町3090-1	無料	9:00～17:00 [火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始]
瀬戸田	平山郁夫美術館	0845-27-3800 尾道市瀬戸田町沢200-2	大人:920円～、高・大学生:410円、小・中学生:210円 ※団体20名以上1割引 ※特別展については料金が異なります	9:00～17:00(入館は16:30まで) [無休 ※展示替えなどのために、臨時に一部展示室がご覧になれないことがあります]
	耕三寺・耕三寺博物館	0845-27-0800 尾道市瀬戸田町瀬戸田553-2	大人:1400円(団体10名以上1200円) 高校生:800円、中学生以下:無料	9:00～17:00(入館は16:30まで) [無休]
御調	えんつばかつぞう 圓鋳勝三彫刻美術館	0848-76-2888 尾道市御調町高尾220	大人:420円、高校生:310円、中学生以下:無料 ※団体20名以上2割引	9:00～17:00(入館は16:30まで) [月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始]
	尾道ふれあいの里	0848-77-0177 尾道市御調町高尾1369	日帰り入浴 / 大人:820円、小学生以下:510円	10:00～22:00(最終受付21:30)

一般社団法人 尾道観光協会

尾道市東御所町1-20 JB本四高速尾道ビル1F ☎(0848)36-5495
おのなび <http://www.ononavi.jp/>

観光案内所

尾道駅観光案内所	尾道市東御所町1-1	☎(0848)20-0005
新尾道駅観光案内所	尾道市栗原町9381-4	☎(0848)22-6900
尾道商業会議所記念館	尾道市土堂1-8-8	☎(0848)20-0400
ロープウェイ山麓駅観光案内所	尾道市長江1-3-3	☎(0848)37-7821
瀬戸田町観光案内所	尾道市瀬戸田町沢200-5	☎(0845)27-0051

一般社団法人 尾道観光協会 瀬戸田支部

尾道市瀬戸田町沢200-5 ☎(0845)27-0051

一般社団法人 因島観光協会

尾道市因島土生町1899-31 尾道市営中央駐車場1階 ☎(0845)26-6111
<http://kanko-innoshima.jp/>

尾道市観光課

尾道市久保一丁目15番1号 ☎(0848)38-9184



ONOMICHI



尾道市ホームページ

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/>

発行:尾道市

心ころころ尾道

C O C O R + N O M I C H I

